



秋山みつあき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

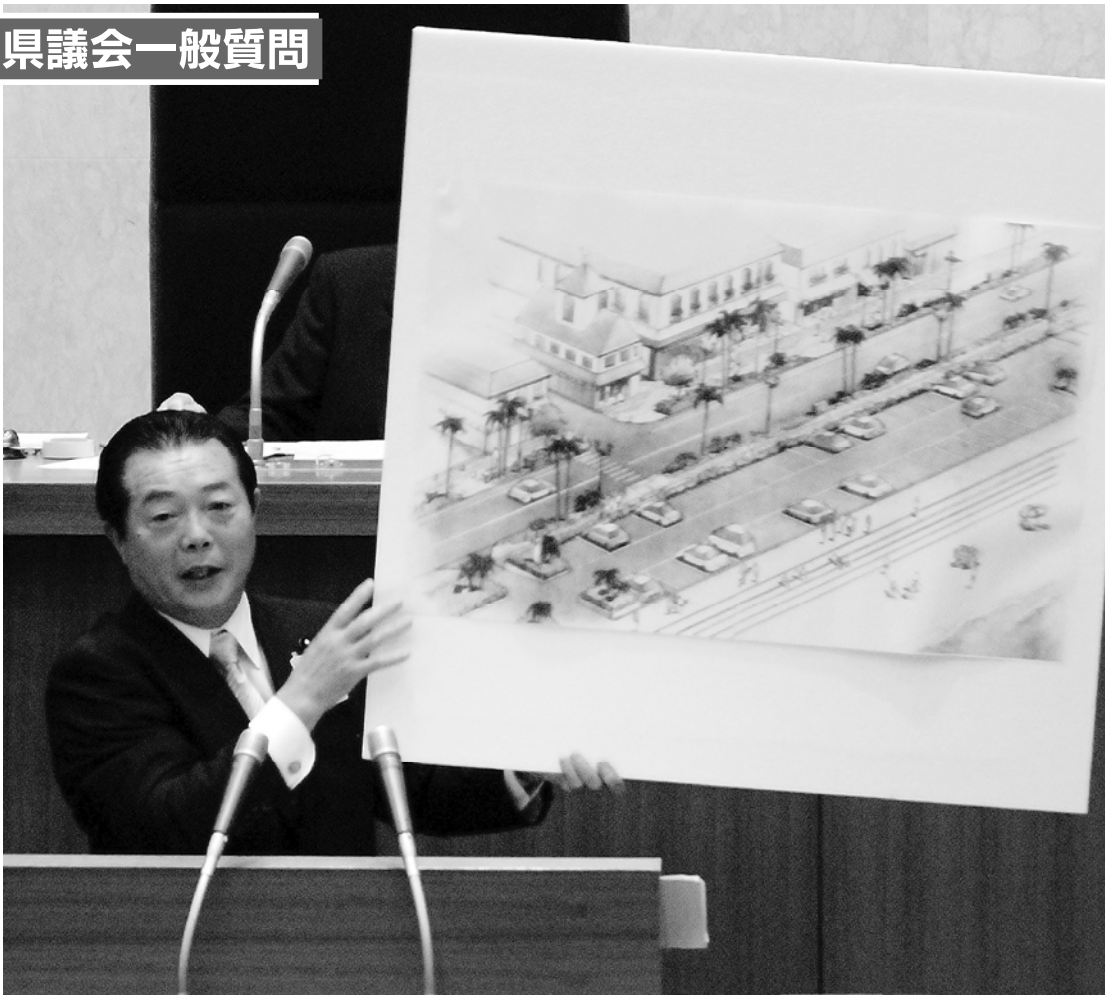
安房博物館、来年4月に市へ委譲

◆館山市特集◆ 6月県議会一般質問

昨年四月の県議選で館山市から立候補し、初当選を果たした秋山光章(あきやま・みつあき)県議は、本会議場での一般質問に早くも三回目の登壇をし、地元の道路問題をはじめ、館山湾・館山港を活用した地域振興策などを取り上げ、県執行部に迫りました。

この中で、県立安房博物館の館山市への委譲について、堂本知事は「安房博物館には水族館があり、水族館は今、大変人気のある施設です。北海道の旭山動物園のように魅力あるものになってくれればと思っています。館山全体として、バランスの取れた海辺の町づくりが進むことを願っています」と述べ、館山市への期待感を明らかにしました。

また、秋山議員は、米の粉を原料にした米粉(こめこ)パンの学校給食での使用促進を求め、低迷する米の消費拡大につなげるよう提案するなど積極的な姿勢が光りました。議員の本会議場での質疑の概要を1、2面で特集しました。



本会議場でパネルを見せながら堂本知事らに質問する秋山県議

船形バイパス、館山港への集客に寄与

海辺の町づくりに期待

秋山県議 県道大掛館山線の仮称・船形バイパスに対する県の認識と今後の対応をどのように考えているのか。

堂本知事 館山道が昨年七月に全線開通したことは、大変よかったと思っています。しかし、国道127号館山バイパスなどでは交通混雑が発生するようになり、館山湾方面へのアクセス改

善による地域活性化も望まれています。

そこで、県は県道大掛館山線の南房総市富浦町福沢地先と館山市船形地先を結ぶ仮称・船形バイパスが国道の混雑緩和や港への集客などに寄与するものと考えています。

海をテーマに地域振興

秋山県議 館山市が取り組んでいる「みなと振興交付金事業」に県も参加し、市と連携して事業を進めるべきと思うがどうか。

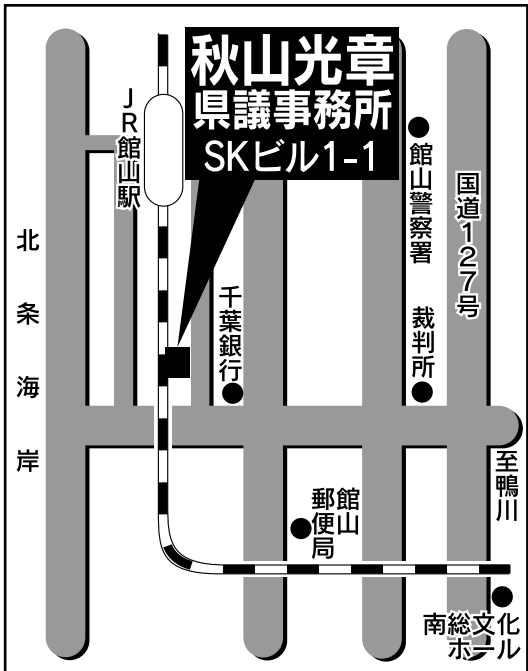
県土整備部長 館山港の多目的桟橋と交流拠点は、南房総地域の観光を通じた活性化に重要です。

そこで、県と市が役割分担し、多目的桟橋は県が、「みなと振興交付金事業」で整備される交流拠点は、市が事業主体となって整備を進めているところです。今後とも市と連携を図り進めてまいります。

秋山県議 安房博物館の委譲について、館山市とどの

ように協議しているのか。教育長 安房博物館は、従来から、海をテーマに地域に密着した活動を行っている施設であり、館山市はこれらを踏まえて地域振興に生かしていく考えです。

平成二十一年四月を目標に、協議を行うところだと思います。



農林水産常任委員会副委員長に就任

秋山みつあき・PROFILE

- ◆略歴◆
- 昭和21年9月 館山市生まれ
- 昭和63年4月 館山市立第三中学校PTA会長
- 平成3年5月 館山市議会議員初当選(4期)
- 平成15年5月 館山市議会議長

- 平成19年4月 県議会議員初当選
- ◆現職◆
- 県議会 観光立県推進議員連盟/建設問題研究議員連盟/議会ブラジル友好議員連盟会員
- 千葉県 農政審議会委員
- 自民党県連 会計監査/組織委員会委員/スポーツ振興議員連盟委員/医療問題議員研究会委員/介護問題対策議員連盟

県政や館山市のご相談、ご意見を聞かせてください

秋山みつあき県議事務所

〒294-0045 館山市北条2570-11 SKビル101
TEL.0470-23-5252
FAX.0470-23-5251

米粉パンを学校給食に試験導入

◆館山市特集◆ 6月県議会一般質問

要望

おいしい米粉パン、米粉製品を作るためには、上新粉より一・五倍微細な、30ないし40ミクロンという細やかな米粉が必要です。現在、県内にはそれが可能な製粉施設がなく、県外へ委託しているが、輸送コストがかかり、割高になることから、製粉施設の整備に早急に着手し、千葉県産米の消費拡大に努めるよう要望します。

秋山県議 日本の米は、日本人の魂や生活、さらには信仰にいたるまで、深く根ざした日本の文化そのものだ。しかし、生産調整によ

つて、耕作放棄地が増えるなど米の消費拡大が重要になっている。特に最近、注目の高い米の粉を使った米粉食品について、学校給食

での利用状況はどうか。教育長 現在、学校給食において、市原市、白子町の二市町で月一回の米粉パンを導入しているほか、佐倉

市など六市ではJ.Aの協力を得て、米粉パン等を試験的に導入しているところだ。なお、千葉県学校給食会

が、県内のすべての学校給食で学期に一回程度の米粉パンの供給が可能となる、年間百五十六万食分の米粉を取り扱うこととしたところであり、学校給食における米粉の一層の普及拡大が期待される

千葉県産米の消費拡大を要望

米粉は、安心安全で栄養バランスに優れ、小麦粉と同時に多様な献立に利用できる食材であると認識しています。なお、米粉は供給



県議会自席で再質問する秋山光章県議



7月1日の一般質問傍聴者と知事を囲んで

秋山県議 未来を担う子どもたちには、ご飯であれ、米粉であれ、日本の食の原点であるお米を日々の生活の中でしっかりと食べ、味わい、子々孫々まで伝えて欲しいと願っている。そこで、学校給食での普及拡大に積極的に取り組むべきと思うが、どうか。

教育長 学校給食は、栄養バランスの取れ

県政に一直線 秋山みつあき県議

●6月県議会自民党代表質問●

財源不足への懸念を表明

6月定例県議会で最大会派の自民党からは皆川輝夫議員(鎌ヶ谷市選出、四期目)が代表質問に登壇しました。皆川議員は、財政問題を第一に取り上げ、本年度は当初予算段階でも百四十五億円もの財源不足のうえ、原油価格の高騰や幅広い物価の値上がりで日本経済に暗い影を落としているなかで、今後予定した税収さえ確保できないのではないかと懸念から厳しい財政運営を質しました。また、羽田空港の国際化問題での知事の姿勢を厳しく質すとともに、成田新高速鉄道の開通に伴う北総鉄道との運賃格差問題や特急待ちによる利便性の低下などを指摘し、県当局の取り組みを求めました。



本清幹事長(左から2人目)と新潟県庁、新潟製粉を訪ね 米粉食品を中心に視察する秋山光章県議(右から2人目)

要望

学校給食における米粉給食の回数は、現状三・二回だが、米粉食品を含め、四回に増やしてほしい。